# 令和６年度（令和５年度実施事業分）主要事業評価シート

No. 21－2

| PDCA | 主要事業名 | 母子健康増進事業 | 部課名 | 子ども未来部子育て相談課 | 担当 | 今井 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 内線 | 414 |

## P

総合計画： 1 － 1 － 1　単位施策： 子どもと子育て家庭

全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度　全体事業費等： 6,806 千円

会計 一般会計　歳出科目： 04.01.01.06.51

**事業概要等**

事業概要： 母子保健法に基づき、母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進を図る。妊娠期から切れ目ない支援を目指す利用者支援事業を行い、地域で安心して子育てが行えるよう相談支援の充実を図る。

事業目的： すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つことを目的とする。

事業内容： 妊娠期からの切れ目ない支援として、教室・訪問等の事業を実施。

問題点・課題等： 子どもや保護者の状況に合った支援や事業の実施。

予算額 6,806 千円

財源内訳
- 市費 2,117 千円
- 国費 3,973 千円
- 県費 716 千円
- その他 0 千円

**主要事業とする理由**

妊娠期から切れ目ない支援を実施し、相談支援の充実を図ることにより、地域で安心して子育てが行えるため。

**得られる成果**

地域で安心して出産し、子育てをすることができる。

| 目標値や目指すべき状態 | | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 産後１か月までの指導・ケアの満足度 | 実績値 | 67.9 | 74.7 | ― | % |
| | 目標値 | 85.0 | 85.0 | 85.0 | % |
| たんぽぽの日　親の意識改善率 | 実績値 | 73.0 | 83.3 | ― | % |
| | 目標値 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | % |
| | 実績値 | | | | |
| | 目標値 | | | | |

目標項目（予算計上時に作成）　予算見積書で活用

## D 得られた成果と実績値

決算額 4,466 千円

**得られた成果**

親子健康手帳交付時に全ての妊婦と面談を行い、妊娠期から出産後まで繋がりのある個別支援を実施した。また、各教室では子どもの月齢に合わせた情報を提供し、安心して子育てできるよう必要な支援につなぐことができた。

| 成果指標 | | 令和５年度 | 単位 |
|---|---|---|---|
| 産後１か月までの指導・ケアの満足度 | 実績値 | 80.9 | % |
| | 目標値 | 85.0 | % |
| たんぽぽの日　親の意識改善率 | 実績値 | 89.6 | % |
| | 目標値 | 80.0 | % |
| | | | |
| | | | |

## C 課題の整理

**事業の評価・課題**

B

令和５年度から伴走型相談支援事業としてこれまで実施していた事業に加え、妊娠８か月アンケートと産後２週間頃に母子の状況を確認するすこやかベビー応援コールを開始し、安心して出産・子育てができるよう妊娠期から個々の状況に応じ支援した。「たんぽぽの日」では公認心理師や児童発達支援センター保育士との連携を図り、子どもの発達理解や関わり方について、保護者へ丁寧な働きかけを行った結果、親の意識改善率の目標達成ができた。

## A 課題解決に向けた今後の方向性

**今後の事業の方向性**

改善推進

健康手帳アプリの導入により、月齢に合わせた健康診査、予防接種、各種教室等をプッシュ型配信できる仕組みが整ったため、今後はそれを活用して支援の充実を図っていく。また、これまで実施している各種教室についても、内容を見直し、保護者目線に立った充実したものにブラッシュアップしていく。

**観点別評価**

| 必要性 | | 有効性 | | 効率性 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①市の関与の妥当性 | 妥当 | ④上位施策への貢献 | 大きい | ⑦コスト削減余地 | ない |
| ②市民ニーズ | 高い | ⑤成果向上の余地 | ある | | ※対象・手段の変更 |
| ③休廃止の影響 | 大きい | ⑥類似事業の有無 | ない | ⑧受益者負担適正化余地 | ない |

評価項目（決算時に作成）　主要施策の成果報告書で活用